

《研究課題名》

急性 A 型大動脈解離における上行大動脈置換術施行に対する脳保護の検討

《研究対象者》

2012 年 8 月から 2022 年 8 月までに滋賀医科大学附属病院心臓血管外科で急性 A 型解離に対して上行大動脈置換術を施行された方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（ 8 ）の問い合わせ先へご連絡ください。

（ 1 ）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学心臓血管外科 鈴木友彰

（ 2 ）研究の意義、目的について

《意義・目的》

上行大動脈置換術を行う際に循環停止を行い、一時的に臓器血流が途絶されます。血流が途絶した臓器を保護するために低温や保護液の灌流が必要となります。脳保護法は大きく 3 つに分けられ超低体温循環停止、順行性脳灌流、逆行性脳灌流がありどれかを選択、または組み合わせることで脳保護を行います。脳保護における最も良い方法は未だわかっていません。超低体温循環停止は定義上、中枢温度 20 以下として循環停止を行います。当院では 25 で脳灌流は用いず循環停止を行っています。この方法での報告は未だありません。当院での脳保護法を用いた術後成績を明確にし、その有効性、安全性を検討します。

（ 3 ）研究の方法について

《研究の内容》

当院で今までに行った急性 A 型大動脈解離に対する緊急手術において、カルテ情報から術後成績を評価することで当院の脳保護法の妥当性を検討します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

院で管理している電子カルテから患者さんの術前の年齢・性別・BSA・高血圧の有無・脂質異常症の有無・糖尿病の有無、術中の手術時間・人工心肺時間・最低温度・順行性選択的脳灌流時間・循環停止時間・術後の合併症（入院時死亡、脳梗塞、大動脈関連合併症）の有無を調べ、統計学的処理を行います。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学心臓血管外科 脇坂穂高

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-54-2244

メールアドレス：hqsurge2@belle.shiga-med.ac.jp